

令和8年度 上半期分 名古屋港貿易概況（速報）の要旨

令和8年度上半期分について、輸出額は「自動車」などが増加したことから、対前年同期比12.8%の増加となった。また、輸入額は「アルミニウム及び同合金」「原粗油」「絶縁電線及び絶縁ケーブル」などが増加したことから、同 20.5%の増加となった。
その結果、差引額は4兆3,886億円（同 5.7%の増加）となった。

名古屋港における輸出額、輸入額は、いずれも過去最高
名古屋港における差引額は、1998年度上半期以降 全国港別（空港を含む）第1位

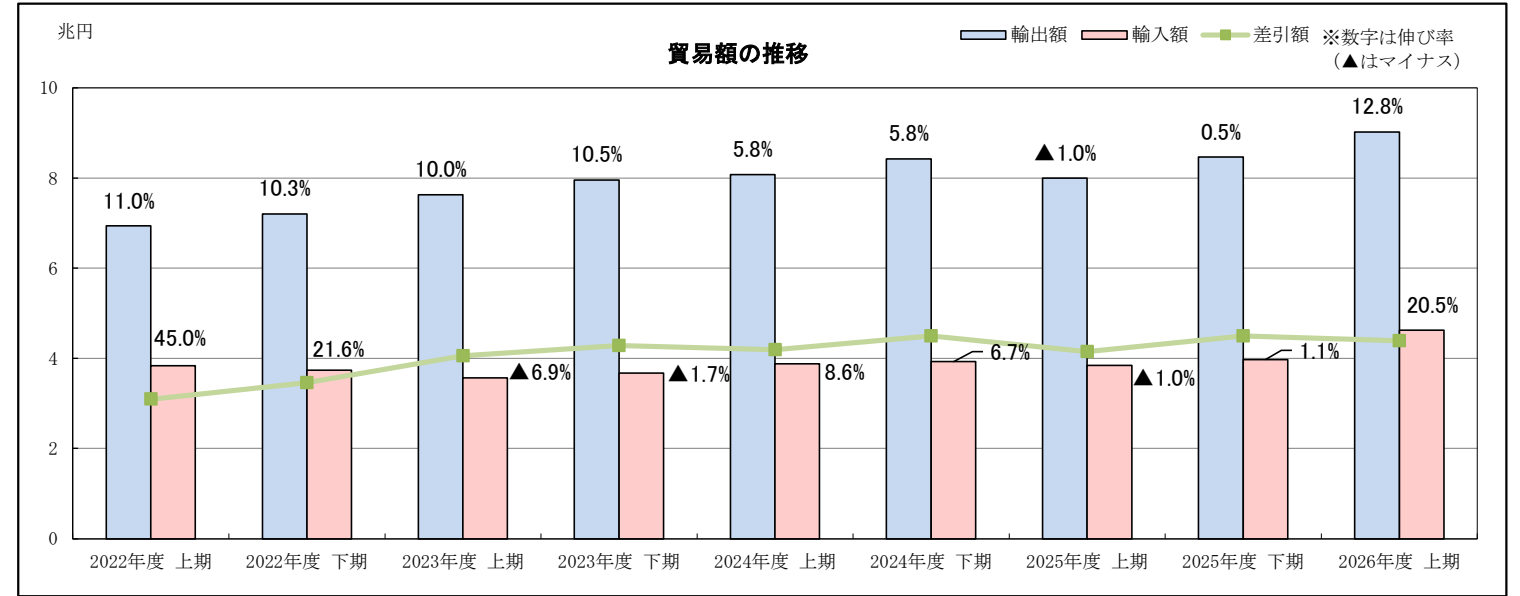
注）本資料中の「伸率」及び「増加・減少」は、前年同期比による
また、★印は名古屋港において全ての年度を通じて過去最高を示す（1979年度上半期以降のデータを基礎として比較）

○総額

区分	輸 出 額			伸 率	輸 入 額			伸 率	差 引 額			伸 率
名古屋港	★ 9兆0,176億円			+12.8%	★ 4兆6,290億円			+20.5%	4兆3,886億円			+5.7%
	2期連続の増加				2期連続の増加				3期ぶりの増加			
	順位	過去 1 位	上半期として 1 位		順位	過去 1 位	上半期として 1 位		順位	過去 3 位	上半期として 1 位	
管内（名港シェア）	14兆2,728億円（63.2%）				8兆6,364億円（53.6%）				5兆6,364億円（―）			
全国（名港シェア）	63兆4,570億円（14.2%）				66兆2,754億円（7.0%）				▲2兆8,184億円（―）			

○主な増減品目

	概 況	品 名	金 額	伸 率	寄 与 度	増 減
輸出増加	(1)	自動車	2兆6,775億円	+13.7%	+4.0	3期ぶりの増加
輸入増加	(1)	アルミニウム及び同合金	★ 2,759億円	+40.8%	+2.1	2期ぶりの増加
	(2)	原粗油	3,695億円	+25.2%	+1.9	3期ぶりの増加
	(3)	絶縁電線及び絶縁ケーブル	★ 2,792億円	+28.9%	+1.6	4期連続の増加



★名古屋港について・・・

本資料における名古屋港の数値は、輸出入された貨物の蔵置場所を管轄する次の税関官署を基準に集計しています。
名古屋港の税関官署とは、名古屋税関本関（含岐阜政令派出所）、中部外郵出張所、南部出張所、諏訪出張所（含長野政令派出所）、西部出張所をいいます。